



DXオフィサー認定試験

DX推進アドバイザー認定試験

企業に必須の人材であるDX推進の実務者、責任者、アドバイザーを認定する資格試験です。

自分自身や企業を、デジタルを使って変革し、圧倒的な競争力を身に付けるための「DX」、デジタルトランスフォーメーションは、今や必須の活動となっていました。新ビジネスや新サービスの実現、あるいは業務効率の飛躍的向上が求められています。

▶ 新型コロナウイルス感染症対策のため
「オンライン・ライブ検定」を実施中

- ①広角Webカメラとパソコンで自宅や会社等で個人受験が可能
- ②広角Webカメラ1台と担当者1人でグループ受験が可能

(担当者はWebカメラの管理をしていただきます)

試験日時・試験概要

DXオフィサー認定試験

2022年 2月13日(日)

試験時間 > 10:00~12:45

検定料 > 19,800円(税込)

問題形式 > マークシート方式(4択)・記述方式

DX推進アドバイザー認定試験

2022年 3月13日(日)

試験時間 > 10:00~11:45

検定料 > 11,000円(税込)

問題形式 > マークシート方式(2択・4択)

申込期限

DXオフィサー認定試験 締切日 ▶ 1月 6日(木)

DX推進アドバイザー認定試験 締切日 ▶ 2月 3日(木)

※公開会場、オンライン・ライブ検定も同日締切

試験会場

試験会場 オンライン・ライブ受験も同時実施

東京会場 … 東京大学(駒場Iキャンパス)ほか
全国の11会場にて開催いたします。

※会場の詳細はホームページをご確認ください。

試験申込者限定 特別キャンペーン

対象者様に発送手数料500円(税込)のみでプレゼントいたします

[対象者]

DX推進アドバイザー認定試験
DXオフィサー認定試験 申込者全員



[DX (Digital Transformation) とは…]

経済産業省が出している「DX推進ガイドライン」によると、「企業がビジネス環境の激しい変化に対応し、データとデジタル技術を活用して、顧客や社会のニーズを基に、製品やサービス、ビジネスモデルを変革とともに、業務そのものや、組織、プロセス、企业文化・風土を変革し、競争上の優位性を確立すること」となっています。

この検定受験で「DX資格」を取得して、会社や業務を変革するための知識を身に付けて下さい。また、あなた自身もデジタルイノベーターとして活躍していただきたいと思います。

受験をお勧めする対象者・業種・業界

【受験をお勧めする対象者】

将来、この試験内容はすべてのビジネスマンに必要になると思われますが、特に下記の方々が活躍していくためには必須の知識になるでしょう。

- | | | |
|--------------|---------------|----------------|
| ・ DX担当者 | ・ 管理職 | ・ 各業務のリーダー |
| ・ IT関連業務担当者 | ・ HR Tech 担当者 | ・ エンジニア／プログラマー |
| ・ UX／UIデザイナー | ・ プロダクトマネージャー | ・ ビジネスデザイナー |
| ・ DX人材希望者 | ・ DXアドバイザー | ・ 経営／理科系学生 |

【受験をお勧めする業種・業界】

現在、下記の業種や業界の一部の企業においてDXが急速に進行しています。自らの競争力を確保するためには、自らもイノベーションを推進する必要があります。

- | | | |
|---------------------|------------------|----------|
| ・ ITサービス／ITコンサルティング | ・ 情報／通信 | ・ 自動車／機械 |
| ・ 金融 | ・ 人材／サービス | ・ 流通 |
| ・ 医療 | ・ メディア／エンターテイメント | ・ 小売り |

お申込みは協会ホームページから ▶

<https://www.joho-gakushu.or.jp/dx/>

全情協

検索

■ 試験に関するお問合せ

03-5276-0030



一般財団法人

全日本情報学習振興協会

東京都千代田区神田三崎町3-7-12 清話会ビル5F

TEL:03-5276-0030 FAX:03-5276-0551

E-Mail:joho@joho-gakushu.or.jp

試験内容

DX推進アドバイザーセミナー認定試験

課題番号	課題内容	出題数
課題1 DXの現状	1. DX総論 2. 業種別DXビジネスの現状 3. DX企業の現状	30問 (2択・4択)
課題2 DXの技術	1. AI(アーティフィシャルインテリジェンス) 2. IoT 3. クラウド 4. その他のIT技術 5. デジタルマーケティング 6. 情報セキュリティ	50問 (2択・4択)
課題3 DXの展開	1. DX人材 2. DXの方法論 3. DX関連制度・政策	20問 (4択)
問題数	課題1-30問、課題2-50問、課題3-20問	合計100問
合格点	課題1~3 いずれも70%以上の正答	
検定料	11,000円(税込)	
試験時間	90分	

※各課題の詳細な内容につきましては、ホームページをご確認ください。

DXオフィサー認定試験

課題番号	課題内容	出題数
課題1 DXの現状	1. DX総論 2. 業種別DXビジネスの現状 3. DX企業の現状	32問 (4択・記述)
課題2 DXの技術	1. AI(アーティフィシャルインテリジェンス) 2. IoT 3. クラウド 4. その他のIT技術 5. デジタルマーケティング 6. 情報セキュリティ	52問 (4択・記述)
課題3 DXの展開	1. DX人材 2. DXの方法論 3. DX関連制度・政策	21問 (4択・記述)
問題数	課題1-32問、課題2-52問、課題3-21問	合計105問
合格点	課題1~3 いずれも70%以上の正答	
検定料	19,800円(税込)	
試験時間	150分	

※各課題の詳細な内容につきましては、ホームページをご確認ください。

オンライン・ライブ受験について

当協会の検定試験は自宅や会社で受験が可能な「オンライン・ライブ受験」に対応しております。会場に直接来ていただく必要は一切ないため、感染症対策を気にする必要もございません。

[ご用意いただくもの]

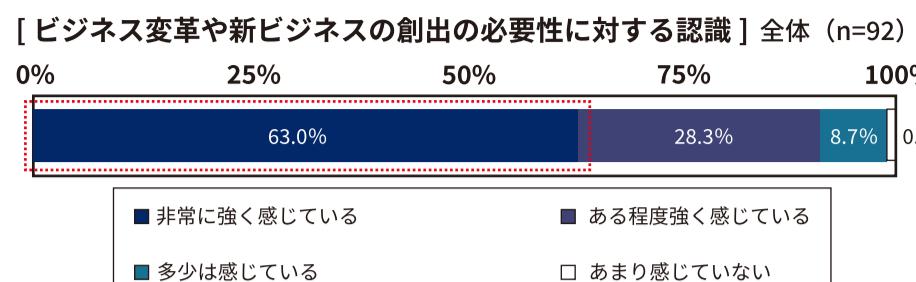
- ・パソコン(ノート・デスクトップどちらでも可)
- ・広角Webカメラ(視野角120°以上) ※協会から販売・レンタルもしております。

[オンライン・ライブ検定の詳細はこちら]

https://www.joho-gakushu.or.jp/online_exams/



DXについての様々な統計



(出典) IPA「デジタル・トランスフォーメーション推進人材の機能と役割のあり方に関する調査」(令和元年5月17日)より抜粋

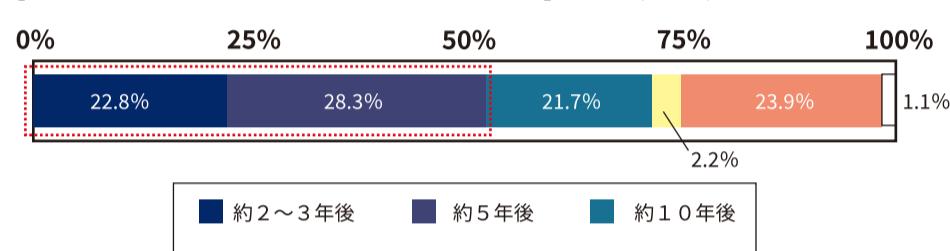
上記グラフは、63%に及ぶ企業がデジタル改革や新ビジネス創出の必要性を感じていることを示しています。

この時点で社内でDX(デジタルトランスフォーメーション)という用語の普及度は35%程度しかありませんが、DXの必要性は強く認識しているようです。

下記グラフは、改革が進行するビジネス環境の下で、自社が現在の競争力を維持できる年数は「何年程度」かを問うています。本回答には1部上場企業も多く含んでいますが、多くの企業が大きな不安を持っているようです。

約50%の企業が5年程度しか自社の競争力を保てないと不安を持っているようです。

[将来的に自社が競争力を維持できる年数] 全体(n=92)



(出典) IPA「デジタル・トランスフォーメーション推進人材の機能と役割のあり方に関する調査」(令和元年5月17日)より抜粋

約半数の企業が現在の競争力を維持できるのは「5年後まで」と回答しています。

参考資料

[試験申込者限定 特別キャンペーン]



DX学習テキスト
発行 全日本情報学習振興協会
[非売品]
発送手数料500円でプレゼントいたします。

参考書籍



今すぐ知りたい
DXの基礎
発行 日経BP
マーケティング
著者 日経クロス
ティック編集
中村建助
価格 1,980円(税込)

※DX学習テキストは、試験と同時に申込みいただけます。
※書籍の利用方法につきましては、当協会ホームページをご確認ください。

合格者特典

合格者には合格証書と認定カードが交付されます。

認定カードは必ずしも人に見せるためではありませんが、認定カードをいつも所持することで自信と自覚が生まれます。

また、合格者はロゴマークのダウンロードができ、名刺などに刷ってお使いいただけます。

認定証書



認定カード



ロゴマーク



※本リーフレットは、協会ホームページよりPDFにてダウンロード頂くことができます。社内回覧などご利用下さい。

<https://www.joho-gakushu.or.jp/dx/>

■お問合せ先
03-5276-0030

一般財団法人
全日本情報学習振興協会
東京都千代田区神田三崎町3-7-12 清話会ビル5F
FAX:03-5276-0551